



雲南市

2026

# 雲南市 市勢要覧

変わらず、  
変える

UNNAN  
CITY  
GUIDE





## ごあいさつ

### Greetings

雲南市は、中国山地の雄大な自然に抱かれた、神話と歴史が息づくまちです。日本さくら名所100選に選ばれた斐伊川堤防の桜並木の絶景や、日本の滝100選の龍頭が滝、八重滝の雄大な姿、そして棚田百選に認定された山王寺の棚田の美しい風景など、四季折々の自然美を楽しむことができます。

また、ヤマタノオロチ伝説をはじめとする出雲神話ゆかりの地や、一度に全国最多の39個の銅鐸（国宝）が出土した加茂岩倉遺跡、国の重要有形民俗文化財である菅谷たたら山内など、歴史ファンも満足できる魅力が満載です。

令和6年度に市制施行20周年を迎えた雲南市は誕生以来、市民との協働を基本に地域の特性を生かしたまちづくりを進めてまいりました。

そして、地域が抱える社会課題の解決に向けた取り組みが市内各地で展開されており、それらの取り組みを支え進める条例「雲南市チャレンジ推進条例」を定め、「日本一チャレンジにやさしいまち」としてさまざまなチャレンジをさらに発展させ「総働」のまちづくりを推進していきます。

雲南市には「人と人とのつながり」、「自然と調和した暮らし」、「豊かな歴史と文化」など、先人から受け継いだ魅力があります。令和7年度に策定した「第3次雲南市総合計画」ではこうした魅力を次世代につないでいくためにも、新しい発想で変えるべきものを変えていく「変わらず、変える」を基本理念とし、将来像「えすこな 雲南市 ~ Well-being for all UNNAN (みんなが幸せに暮らせるまち) ~」をめざし持続可能なまちづくりを進めています。

田舎暮らしの本「住みたい田舎ベストランキング」においては、「若者世代・単身者」部門で全国第2位に選ばれ、昨年度まで部門を変えつつ4年連続で全国第1位を獲得するなど、どの世代にも住みやすく魅力ある自治体の評価を受けています。

豊かな自然に囲まれ、神話や伝承、地域の絆や人と人とのつながりが残る雲南市の豊富な地域資源を生かし、心豊かに暮らせる環境をつくるため、一步一步力強くまちづくりを進めてまいります。

雲南市長 石飛厚志



# 雲南市プロフィール

PROFILE

## 地勢

TOPOGRAPHY

島根県の東部に位置し、面積は 553.18 km<sup>2</sup>です。北部は出雲平野や宍道湖が広がる松江市、出雲市と接し、南部に中国山地が連なり、広島県に接しています。

市内には、一級河川の斐伊川と支流の赤川・三刀屋川・久野川などのほか、神戸川に注ぐ稗原川、波多川が流れています。このため、加茂町から大東町、木次町、三刀屋町にかけ、斐伊川と赤川、三刀屋川の合流地点を中心に平坦部が広がっていますが、南部は中国山地に至る広範な山間部となっています。

## 人口

POPULATION

雲南市の人口は、令和 2 年国勢調査によると 36,007 人で、平成 27 年国勢調査と比較すると 3,025 人 (7.8%) 減少し、うち 65 歳以上の高齢人口が占める割合は 40.1% と、年々高齢化が進んでいます。年齢別人口構成は、少子高齢化が進み、平成 2 年には高齢化率が年少人口割合を上回り、令和 2 年には年少人口割合は 11.2% となっています。

## 歴史

HISTORY

市内各地に神話や伝説が残り、多くの遺跡や古墳が発掘され、平成 8 年 10 月には 1 ヶ所の出土としては全国最多となる 39 個の銅鐸が加茂岩倉遺跡から出土しています。

市の中央を縦断する斐伊川は、ヤマタノオロチ伝説でも知られ、古くから支流周辺の低地では農耕が営まれ、また、山間部ではたたら製鉄や炭焼きが盛んに行われてきました。



加茂岩倉遺跡から出土した銅鐸(加茂)  
※令和 8 年は、銅鐸出土から 30 周年の節目を迎えます。



須我神社(大東)

# 産業

INDUSTRY

**【農林業】** 有機農業への先駆的な取り組みから安全・安心な米や畜産、野菜、花き栽培など良質な農畜産物が生産され、平成 10 年から続く島根県農業協同組合と連携した農産物の産直のほか、乳製品やワインなどの多彩な加工品も作られています。林業では、森林資源の調査を行い効率的な

施業を進め、2ヵ所の木材流通拠点施設を核とした販路の拡大と商品開発の推進や公共建築物、木質チップボイラーで市産材を利用することで森林整備を推進しています。

**【工業】** 加茂町・木次町等に企業団地が整備されており、誘致企業をはじめとする事業所が立地しています。特に木次町に一般機械製造業、電気機械製造業等の集積が進んでおり、令和 3 年経済センサス活動調査の製造品出荷額は県内第 4 位となっています。また、市内にはコワーキングスペースが整備され、IT 系事務職場の誘致にも取り組んでいます。

**【商業】** 中心市街地商業施設「コトリエット」を核とした賑わいづくりに加え、令和 7 年 7 月には新たにビジネスホテルが開業し、市内での宿泊・滞在環境が大幅に向上しました。これを機に交流人口の拡大を図ります。また、意欲ある起業家への支援や、地域資源を生かした特産品の販路開拓を強力に推進し、利便性と活力に満ちた、持続可能な商業環境の構築に取り組んでいます。

**【観光】** 日本さくら名所 100 選の「斐伊川堤防桜並木」をはじめ 2 月下旬から 4 月上旬まで楽しめるさくら、日本の滝 100 選に選定された「龍頭が滝・八重滝」、日本の棚田百選の「山王寺の棚田」など、季節ごとに違う表情を見せる豊かな自然が体験できる観光資源が豊富にあります。また、国の重要有形民俗文化財に指定され、日本で唯一現存する「菅谷たたら高殿」や近代たたら操業が体験できる施設などでは、鉄づくりの歴史と文化を感じることができます。この他にも、出雲國風土記に記されている古くからの温泉、自然を満喫できるキャンプ場、平和学習の拠点である永井隆記念館などの施設があります。



雲南市のブランド米「プレミアムつや姫たたら燗米」



雲南吉田木材流通拠点施設(吉田)



拡張整備を進めている神原企業団地(加茂)



中心市街地商業施設「コトリエット」(三刀屋)



棚田百選「山王寺の棚田」(大東)



日本の滝100選「八重滝」(掛合)



# 第3次雲南市総合計画（令和7年度～令和16年度）

令和7年度は、「市民の計画」として広く周知を進めるとともに、「えすこ会議」などを通じて多くの皆さんとの対話の場を持ち、まちづくりに生かすよう取り組みました。2年目となる令和8年度は、12の施策を着実に進めながら、分野を超えた「シンボルプロジェクト」を展開し、「えすこな雲南市」の実現に向けた取り組みをさらに前へ進めます。

## 基本理念

### 変わらず、変える

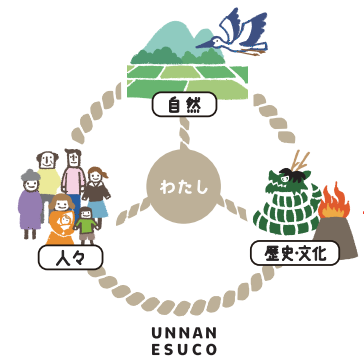
変わらず、大切にすること そのために勇気をもって変えること

人と人、人と自然、人と歴史・文化のつながり（調和）が、雲南市の魅力の原点です。これらの大切な価値を次の世代へ引き継ぐために、守るべきものは守り、必要なことは勇気をもって変えていく、その姿勢をまちづくりの基本理念としています。

## めざす 将来像

### えすこな 雲南市

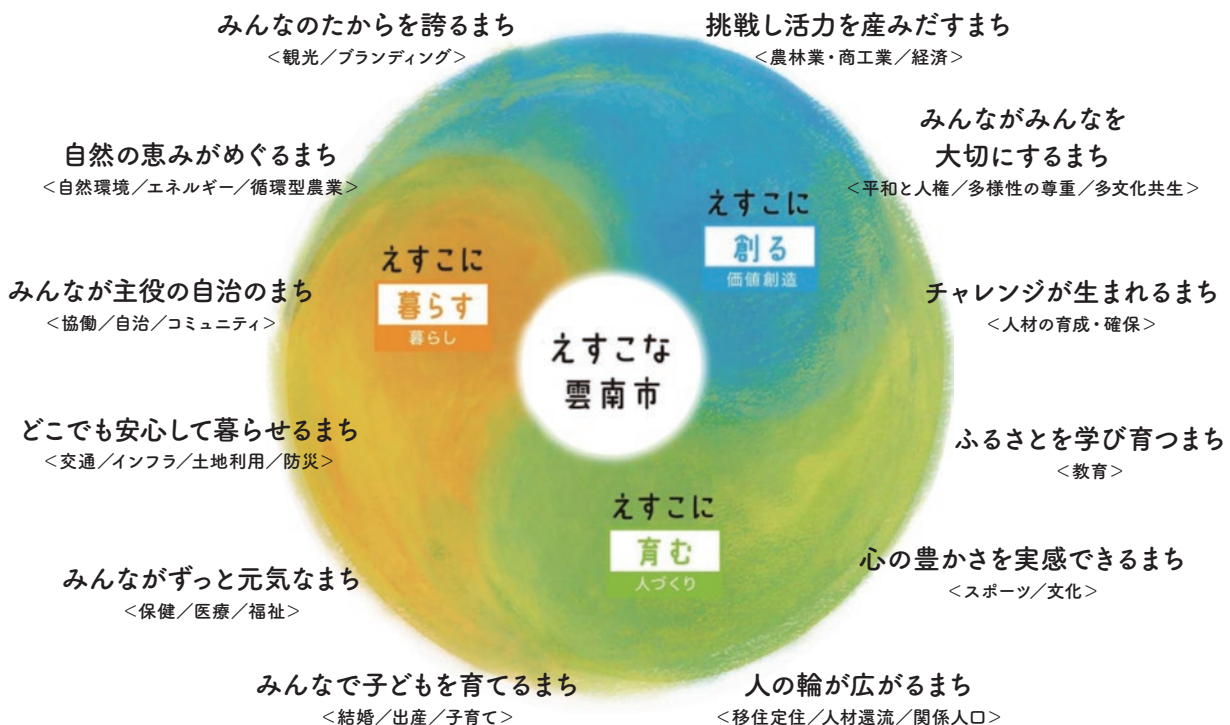
Well-being for all UNNAN  
みんなが幸せに暮らせるまち



「えすこ」とは、この地域の方言で「ちょうどよい」「いい具合」を意味する言葉です。雲南らしさや調和を大切にしながら、今だけ、自分だけではなく、「人と人」「人と自然」「人と歴史・文化」のつながりの中で、みんなが幸せに暮らせる持続可能なまちをめざします。

## 「えすこな雲南市」の実現に向けた3つの柱と12の施策

「えすこな雲南市」をよいかたちでこれからのにつないでいくため、「暮らす」「育む」「創る」の3つの柱を軸に、12の施策を一体的に推進します。それを通じて、人口減少の中でも安心して暮らせる地域を築き、まちを支える人が育ち、活躍し、雲南ならではの価値が地域や経済に好循環を広げる、そんな持続可能なまちの姿を実現していきます。



# 《 令和8年度の主な課題と対策 》

課題  
1

## 人口減少社会における地域の持続性確保

対策

人口減少が進む中であっても、地域活動や産業、暮らしを将来にわたって維持していくため、分野を超えた人材育成に取り組み、地域を支える担い手の確保を推進します。



担い手育成の取り組み「地域づくり連続講座」

課題  
2

## 地域自主組織を基盤とする住民自治の仕組みの再構築

対策

地域自主組織や住民主体の取り組みを将来に引き継いでいくため、地域自主組織のあり方の見直しや、多様な関わり方を生み出す仕組みづくりを推進します。



サロンでの軽スポーツは  
高齢者の健康づくりと集いの場

課題  
3

## 誰もが安心して暮らせる生活基盤の維持

対策

公共交通の再編に向けた検討を進めるとともに、道路・水道などの生活インフラの老朽化への対応に計画的に取り組み、暮らしの基盤の維持に努めます。

課題  
4

## 高齢化が進む中での支え合いと地域のつながりの維持

対策

高齢化や地域のつながりの希薄化が進む中、医療・介護・福祉の連携強化に加え、見守りや居場所づくりなど、地域で支え合う共助の仕組みの充実に取り組みます。



離乳食づくりも学べる子育て中の居場所  
「赤ちゃん食堂」

課題  
5

## 若者・子育て世代に選ばれる暮らしの実現

対策

進学や就職、結婚・子育ての節目においても雲南市で暮らし続けたい、戻ってきたいと思えるよう、仕事・住まい・子育て環境を一体的に高める取り組みを推進します。



学校運営協議会の地域住民や保護者により  
企画された小・中学校交流学習

課題  
6

## 地域の温もりの中で学び合う 教育環境(学びの場)を守り育てる

対策

確かな学力や社会性を育みながら、夢や希望を抱くことのできる、雲南ならではの温もりある教育環境(学びの場)づくりに取り組みます。



空き家を祭りに合わせて出店スペースとして  
活用する「まちなかプロジェクト」

課題  
7

## 地域経済の活力維持と新たなチャレンジの創出

対策

地域経済の活力を将来につなげていくため、起業や事業承継など新たな仕事づくりを支援するとともに、地場企業の稼ぐ力の向上や人材確保などに取り組みます。



# 12の施策と10年後のめざす姿

## 01 みんなが主役の自治のまち 〈協働／自治／コミュニティ〉

10年後のめざす姿

地域の特性や人のつながりをいかし、みんなでまちづくりが行われている。



誰一人取り残さない。  
そんなつながりのある地域。

地域活動や市民活動に参加している市民の割合

70%

## 02 どこでも安心して暮らせるまち 〈交通／インフラ／土地利用／防災〉

10年後のめざす姿

そこに暮らす人が、住みよさ、暮らしやすさを実感している。



空き家、未利用の農地・山林が地域資源として見直され、活用されている。

住んでいる地域が安心して住みよさを感じる市民の割合

60%

## 05 人の輪が広がるまち 〈移住定住／人材還流／関係人口〉

10年後のめざす姿

雲南に愛着を持ち、まちづくりに関わる人の輪が広がっている。



移住者が増え、地域活動や農林業の担い手として活躍している。

人口の社会動態

+50人

Uターン者数

180人

## 06 心の豊かさを実感できるまち 〈スポーツ／文化〉

10年後のめざす姿

楽しみながら、自分らしい豊かな暮らしが実現できている。



地域独自の伝統芸能や行事、お祭りが継承されている。

スポーツや文化芸術に親しんでいる市民の割合

50%

## 09 みんながみんなを大切にするまち 〈平和と人権／多様性の尊重／多文化共生〉

10年後のめざす姿

「『平和を』の都市宣言」の精神に基づき、お互いの価値観を尊重し、みんながいまいきと安心して暮らしている。



外国人住民等も地域の一人として活動に参加している。

性別などに関係なく誰もが平等に扱われていると感じる市民の割合

80%

## 10 挑戦し活力を産みだすまち 〈農林業・商工業／経済〉

10年後のめざす姿

新しい発想や挑戦により稼ぐ力が高まっている。



デジタル技術の活用や高付加価値化により農業や畜産、林業の収益性がアップし、新規就業者が増えている。

市内総生産額

1,315億円

### 03 みんながずっと元気なまち 〈保健／医療／福祉〉

10年後の  
めざす姿

保健医療福祉の  
充実や支え合いにより、  
誰もが健やかに  
暮らしている。



保健・医療・福祉が一体となって  
住民の暮らしを支えている。

自分は健康であると感じる  
市民の割合

80%

### 04 みんなで子どもを育てるまち 〈結婚／出産／子育て〉

10年後の  
めざす姿

家族や地域の  
温かなつながりの中で  
安心して子どもを  
育てられている。



子どもたちが自然の中で  
元気に遊び回れる環境が整っている。

子育てしやすいと感じる  
市民の割合

80%

合計特殊出生率

1.80

### 07 ふるさとを学び育つまち 〈教育〉

10年後の  
めざす姿

地域の温もりの中で  
学び合い、ふるさと雲南を  
愛する人にあふれている。



学校・家庭・地域が力を合わせて子どもを育てている。  
ふるさと雲南の誇りが継承されている。

将来も雲南市に貢献したいと  
思う高校生の割合

80%

### 08 チャレンジが生まれるまち 〈人材の育成・確保〉

10年後の  
めざす姿

チャレンジしやすい環境が広がり、  
多分野で多様なチャレンジが  
生まれている。



誰もが自分なりの  
チャレンジに取り組んでいる。

チャレンジしやすいと  
感じる市民の割合

50%

### 11 みんなのたからを誇るまち 〈観光／ブランディング〉

10年後の  
めざす姿

世界に誇る歴史文化や  
資源を通じて国内外の  
雲南ファンとつながっている。



神話やたたらなどの  
雲南ブランドが世界に広がっている。

観光消費額

36.5億円

### 12 自然の恵みがめぐるまち 〈自然環境／エネルギー／循環型農業〉

10年後の  
めざす姿

自然の恵みをいかした  
持続可能な循環モデルが  
確立されている。



エネルギーとして利用できる  
資源の利活用がすすんでいる。

脱炭素に関する取り組みを  
している市民の割合

90%



# 施策横断の「シンボルプロジェクト」による相乗効果の発揮

12の施策の枠を超え、中長期的な視点で新たな価値を生み出す挑戦を「シンボルプロジェクト」として展開します。「暮らす」「育む」「創る」の3つの柱ごとに、大切にすべき考え(コアコンセプト)を明確にし、施策や事業間の連携を促すことで、これまでにない相乗効果を創出します。さらに、官民連携のもとで新たな挑戦を重ね、民間主体の動きを広げながら、持続可能なまちづくりを前へ進めます。

## 暮らす 「雲南の暮らしの再構築」



### 共創型自治の推進

地域自主組織と地域内外の多様な主体、行政が密に連携し、人と人がつながる温かな暮らしの場を共創する。



地域自主組織を基盤とした自治や共助の仕組みの充実に取り組みます。地域ごとの現状や課題を改めて整理し、これからの地域のあり方を多様な関係者とともに考え、事業者や関係人口との連携・共創による新たなモデルづくりを進めます。



地域自主組織の防災研修を市内外の事業者などと連携して開催

## 育む 「雲南を学ぶ・いかす」



### みんなの<sup>きょういく</sup>共育環境の創出

世代、分野、立場を超えて学びと実践が交わり、一人ひとりの成長が次の担い手へと自然につながっていく循環を育む。



分野や世代、立場を超えて、みんなが共に学び合い、一人ひとりが担い手として成長していける環境づくりに取り組みます。ふるさと教育やキャリア教育のさらなる充実に加え、世代を超えた学びや挑戦をつなぎ、支えるコーディネート機能の充実を図ります。



さまざまな世代、分野、立場から集まりアイデアを出し合う「えすこ会議」

## 創る 「雲南ならではの価値創出」



### 地域と経済の好循環の形成（えすこカンパニーの成長支援）

経済成長と環境配慮・地域貢献を両立し、地域との関係の中で好循環を生み、応援される元気な事業者を増やす。



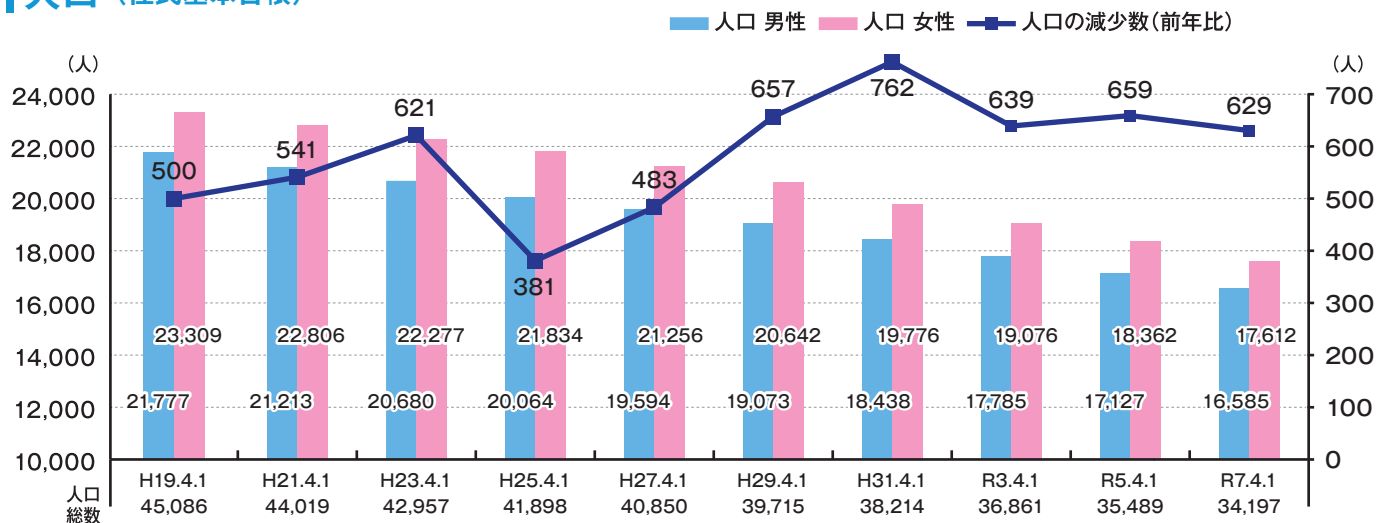
雲南市の産業と雇用を支える地場企業の持続的な成長を後押しします。市内事業者の実態把握を進めるとともに、若手経営者などとの勉強会を通じて、企業価値の見える化や、金融機関などとも連携しながら、資金面・人材面の支援策について検討を進めます。



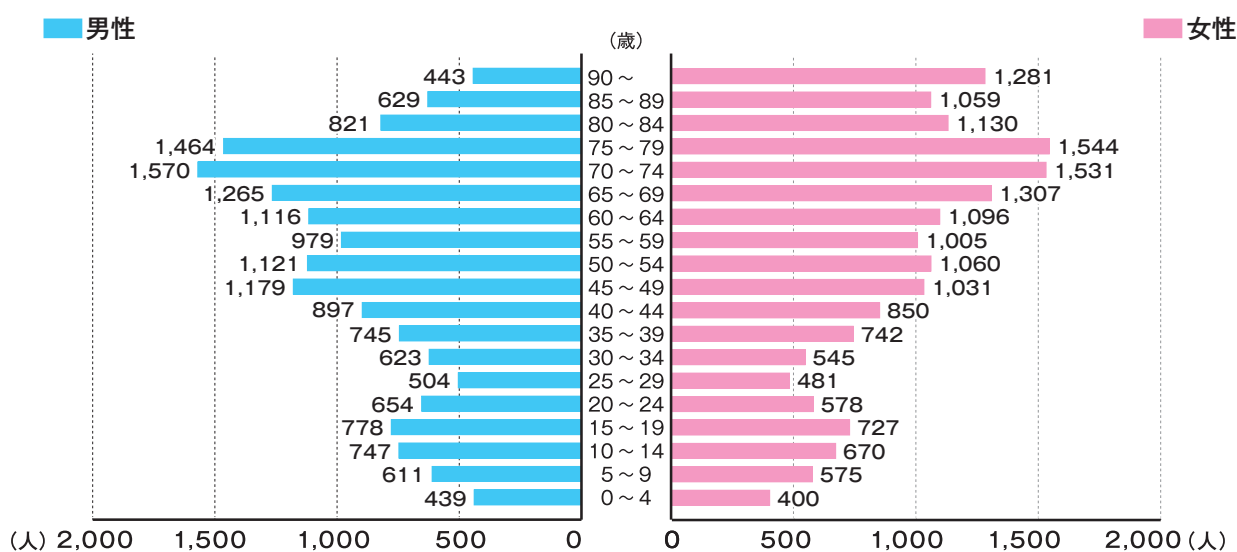
事業者同士が学び合いや情報交換をする「事業創出ラボSHIFT(シフト)」

# 統計資料・グラフで見る雲南市

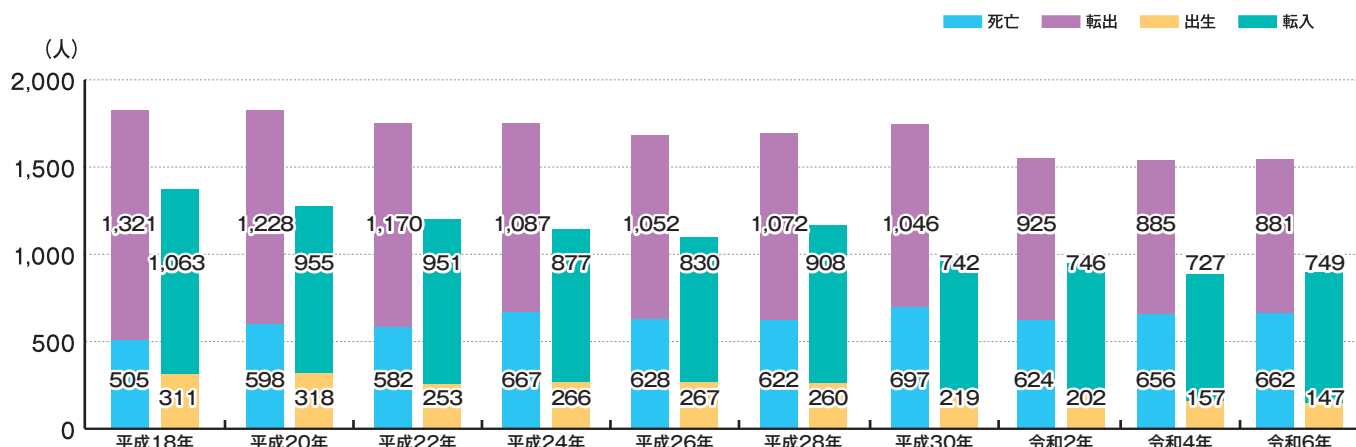
## 人口 (住民基本台帳)



## 人口ピラミッド (住民基本台帳 令和7年4月1日現在)

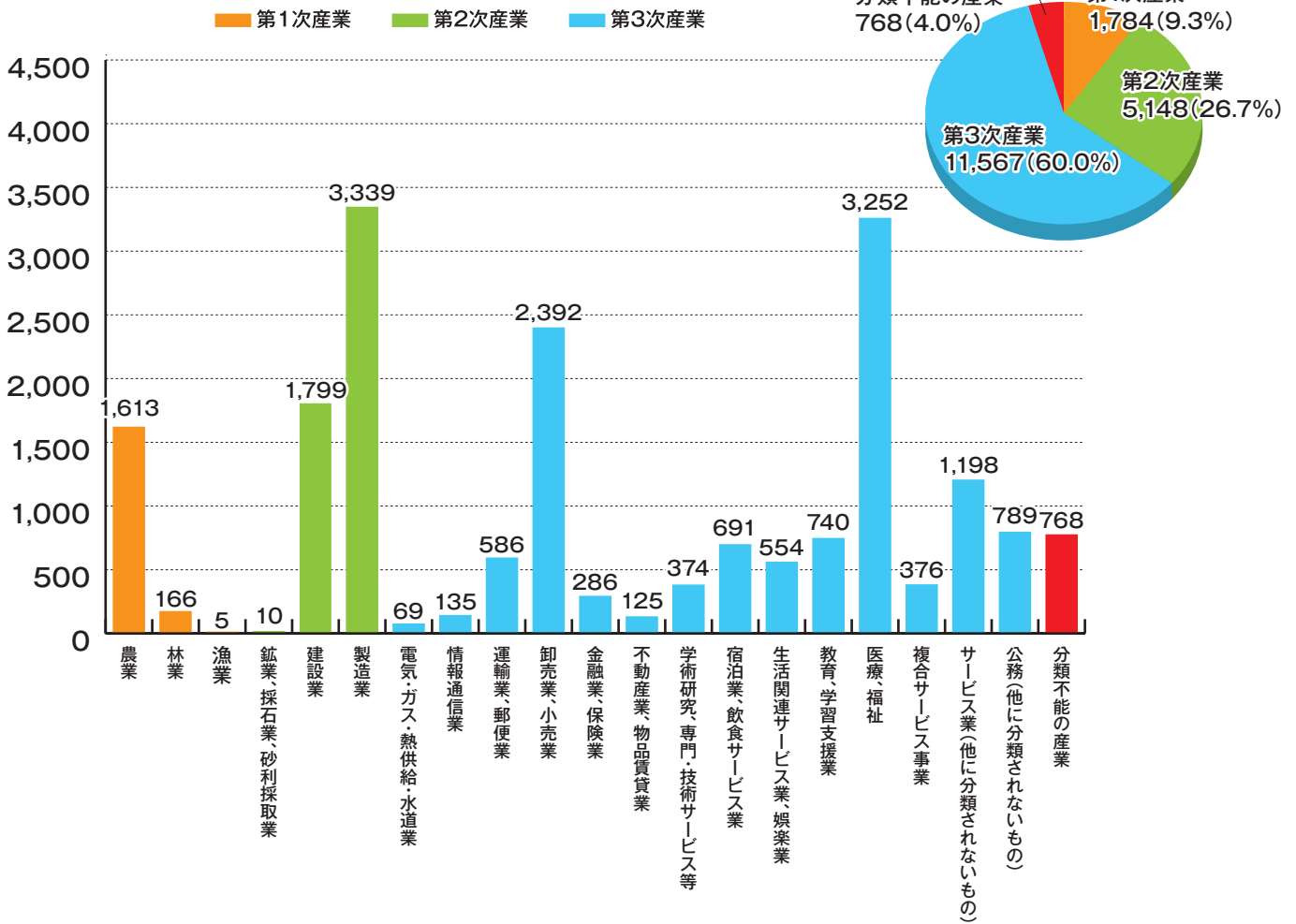


## 人口動態 (島根県人口動態調査)



## 産業別従事者数 (令和2年国勢調査)

産業別従事者の割合

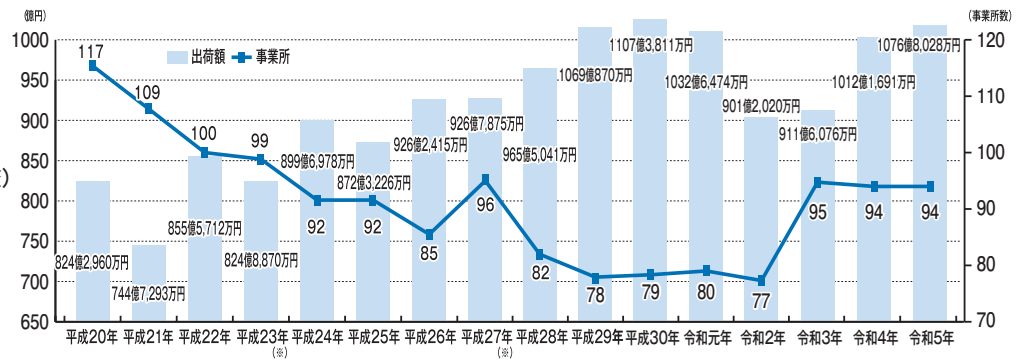


## 製造品出荷額等の推移

(従業員4人以上の事業所)

(工業統計調査及び平成24年、平成28年、令和3年経済センサス-活動調査、令和4年～6年経済構造実態調査-製造業事業所調査)

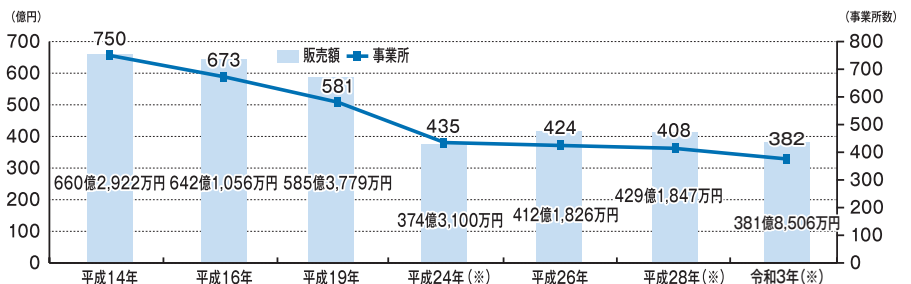
※工業統計調査が実施されていない年は、経済センサス-活動調査もしくは経済構造実態調査-製造業事業所調査の結果を参照。



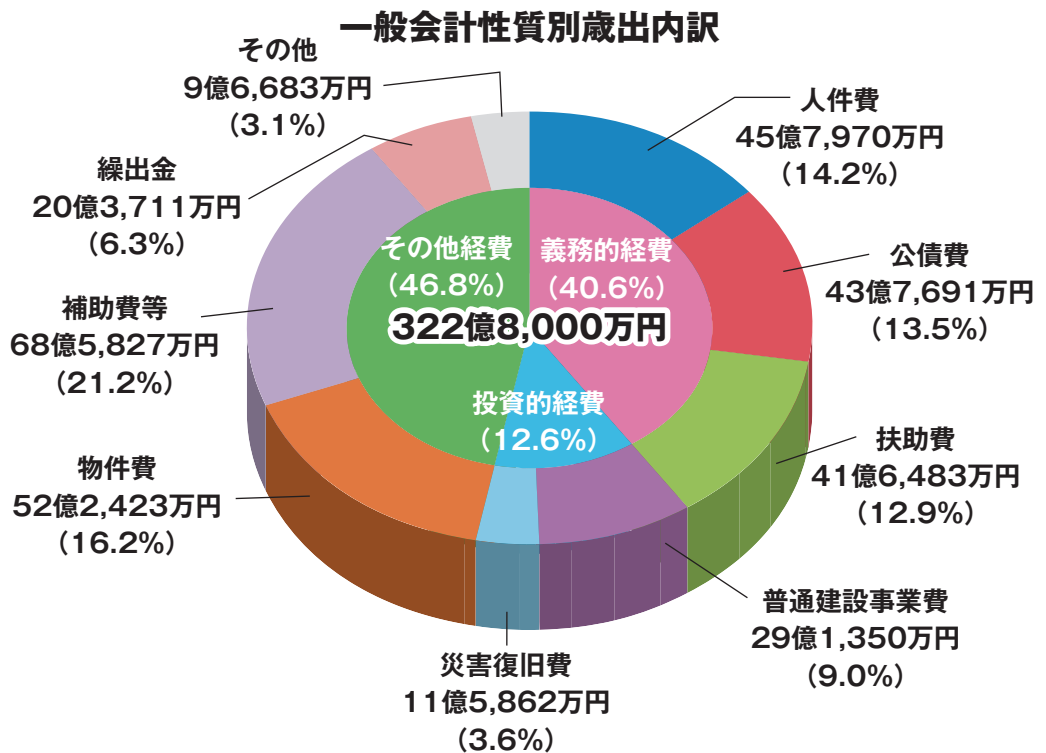
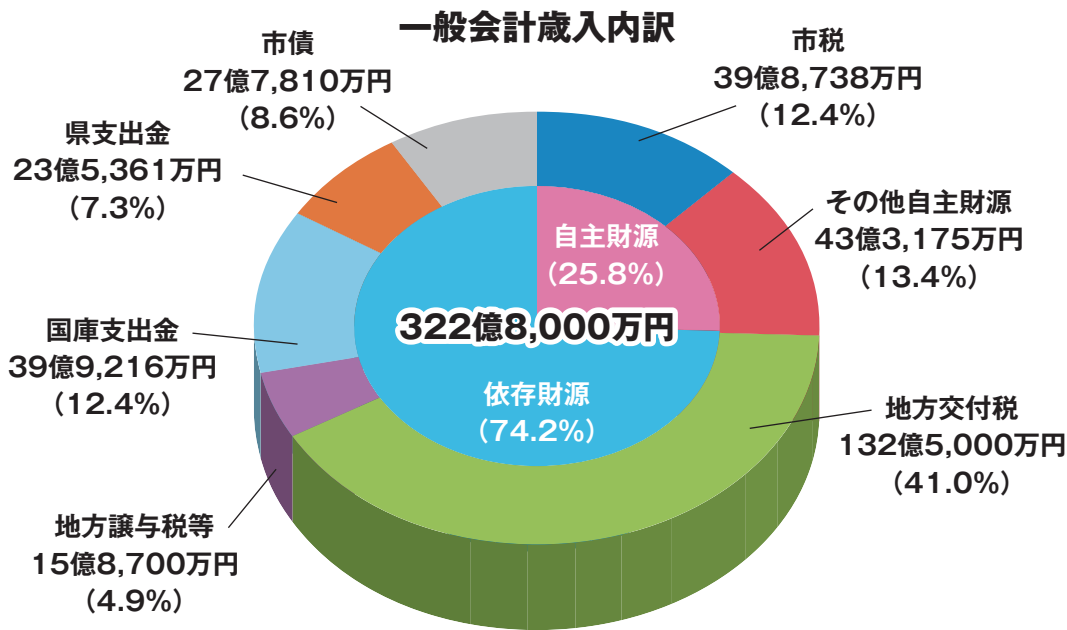
## 年間商品販売額等の推移

(商業統計調査及び経済センサス-活動調査)

※商業統計調査が行われていない平成24年及び平成28年、そして商業統計調査の廃止以降は、経済センサス-活動調査の結果を参照。経済センサス-活動調査の結果は、産業別に分類できない不詳事業所を除いて集計しています。



## 令和8年度 一般会計当初予算額



## 令和8年度 会計別当初予算額

会計名		令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減額
一般会計		322億8,000万円	311億2,000万円	11億6,000万円
特別会計	国民健康保険事業	40億8,100万円	41億700万円	▲ 2,600万円
	後期高齢者医療事業	14億2,500万円	12億7,300万円	1億5,200万円
	農業労働災害共済事業	580万円	570万円	10万円
	財産区	60万円	80万円	▲ 20万円
	合計	377億9,240万円	365億650万円	12億8,590万円

# 雲南市 観光マップ

ヤマタノオロチ伝説で知られる斐伊川をはじめ、神話・伝説ゆかりの名所が各地にあり、加茂岩倉遺跡など多くの史跡や古墳も残されています。山間地では古くからたたら製鉄や炭焼きなども盛んに行われてきた歴史豊かな地域でもあります。



島根県雲南市の観光サイト「うなん旅ネット」の二次元コード



## 4 かもいわくらいせき 加茂岩倉遺跡

全国最多、1カ所で39個の銅鐸が発掘され、出土物が国宝に指定された本遺跡は、同じく全国最多の銅剣が出土した荒神谷遺跡(出雲市斐川町)と近いことから、古代出雲に強大な勢力が存在していたことを示しています。令和8年は、銅鐸出土から30周年の節目を迎えます。



## 1 みどり さくらきよいごう 緑の桜 御衣黄

春、一般的な桜より遅く4月中旬から下旬にかけて、三刀屋川河畔などに、約120本の薄黄緑色の桜「御衣黄」が咲き誇ります。さわやかで気品のある色合いが貴族の衣装を彷彿とさせることからその名が付いたとされる大変に珍しい桜です。



## 2 ながいたかしきねんかん 永井隆記念館

雲南市出身の永井隆博士の記念館です。長崎県で被爆しながら、身を挺して原爆傷病者の救護にあたり、病床に伏しつつも「長崎の鐘」「この子を残して」などの名著を残し、世界に「平和を」の願いを訴え続けた永井博士の遺品等を展示しています。



## 3 りゅうずたき 龍頭が滝

中国地方随一の名瀑といわれる龍頭が滝は、落差40mの雄滝と30mの雌滝からなり、近くの「八重滝」とともに「日本の滝100選」に選定されています。雄滝の裏側の岩窟から眺める滝も圧巻です。



雲南市観光キャラクター 人気アニメ「秘密結社 鷹の爪」の人気者・吉田くんは雲南市吉田町の出身で、雲南市の各地に出没しています。

## 吉田くん





5 **すがじんじや 須我神社**

スサノオノミコトがヤマタノオロチを退治し、めとったクシナダヒメとともに創建したとされる「日本初之宮」で、スサノオノミコトが「八雲立つ 出雲八重垣 妻ごみに 八重垣つくる その八重垣を」と歌を詠んだことから、和歌発祥の地ともいわれています。



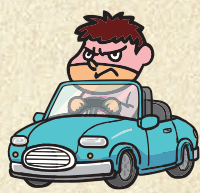
6 **うしおんせん 海潮温泉**

斐伊川の支流、赤川の谷あいにある名泉で、約1,300年前の「出雲國風土記」にもその名がうかがえる歴史ある温泉です。泉質はナトリウム-硫酸塩・塩化物泉で、神経痛などに効能があるといわれています。



7 **ひいかわていぼうさくらなみき 斐伊川堤防桜並木**

「日本さくら名所100選」に認定された中国地方有数の桜の名所で、約2kmにおよぶ800本の桜のトンネルが楽しめます。樹齢80年以上の古木も多いため、桜の専門家「桜守(さくらもり)」が丹念に桜を手入れしています。



奥出雲町



8 **いずも ゆむらおんせん 出雲湯村温泉**

「出雲國風土記」に、「漆仁(しつに)の川辺に薬湯あり 一たび湯浴みすればすなわち身体和らぎ、再びすすげばすなわち万病消える」とあり、古くから効能の高い秘湯として有名です。泉質はアルカリ単純温泉で、切り傷、火傷、皮膚病などに効能があるとされています。



9 **すがや さんない 菅谷たたら山内**

映画「もののけ姫」の「タタラ場」のモデルになった場所で、日本遺産「出雲國たたら風土記」の構成文化財の一つです。日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」の拠点が往時の姿のまま残っています。



ラッピング列車「しんわ」(左)、「たなだ」(右)

10 **きすきせん 木次線**

一両列車の聖地 木次線 ~たった一両。だから、特別。~

ヤマタノオロチ神話ゆかりの斐伊川沿線の新緑から、紅葉、雪景色まで豊かな自然を満喫できる路線です。

多くの列車が一両編成で運行しており、沿線の資源を色で表した4色のラッピング列車や、観光列車「あめつち」が運行しています。



観光列車「あめつち」

VRで体験する



# 都市宣言

◆「平和を」の都市宣言 (平成17年11月3日)

◆雲南市男女共同参画都市宣言 (平成25年11月30日)

◆うんなん健康都市宣言 (平成26年11月1日)



市章 平成16年11月1日制定

雲南市の「U」をモチーフに、「いきいきとした自然・人・街(ふるさと)」「生命と神話が息づく新しい日本のふるさと」をイメージし、全体として、未来に向かって躍動・発展する雲南市を力強く表現しています。

市の花 さくら



バラ科サクラ属/平成18年12月21日制定

市の木 いちょう



イチョウ科イチョウ属/平成18年12月21日制定

市の鳥 コウノトリ 特別天然記念物



コウノトリ科コウノトリ属/令和8年3月23日制定

雲南市の歌 (平成26年11月1日制定)

姉妹都市 アメリカ合衆国インディアナ州リッチモンド市 (平成26年8月11日 姉妹都市協定締結)

## 雲南市へのアクセス

### ACCESS



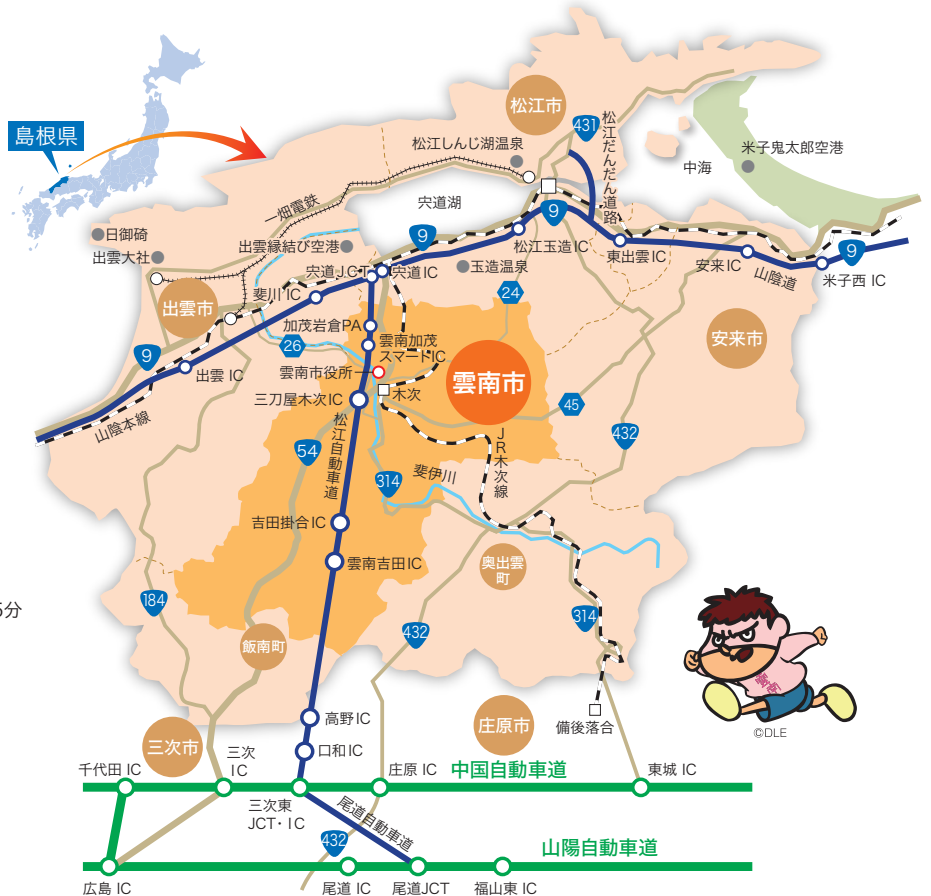
出雲縁結び空港から  
車(タクシー)で約20分



- JR松江駅から  
JR木次駅まで約1時間
- JR出雲市駅から  
JR木次駅まで約1時間
- JR宍道駅から  
JR木次駅まで約35分



- 中国自動車道から  
三次東JCT・ICから松江自動車道で約45分  
東城ICから国道314号で約2時間
- 松江自動車道から  
三刀屋木次ICから約5分  
松江玉造ICから約35分  
出雲ICから約30分



発行

島根県雲南市 〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521番地1 TEL:0854-40-1000(代表)  
https://www.city.unnan.shimane.jp/ e-mail:unnan-city@city.unnan.shimane.jp

発行年月

令和8年3月

雲南市  
ホームページの  
二次元コード

